

# 夢のたねを学校おもせ



令和8年5月1日(金)第3つづ

## 「安全のたね」をみんなで育てましょう

4月20日午後4時過ぎ、携帯電話から緊急地震速報が流れ、その後、ユッサユッサと大きな揺れが襲ってきました。気仙沼市の震度は4。ほどなく津波注意報が発令され、緊張が走りました。

15年前の東日本大震災により、宮城県では多くの尊い「いのち」が失われました。その中には、明日を生きることを閉ざされた小さな「いのち」もありました。

「行ってきます。」と家族に言って登校した子供たちは、必ず家族に「ただいま。」の一言が言えるようにおうちに帰す。これが、学校経営の根幹です。

翌21日(火)の朝の活動は、地震を想定した「防火扉を安全にくぐる訓練」を行いました。前日の地震もあって、子供たち、指導する先生方も「いのちを守る訓練」に真剣に取り組んでいました。

また24日(金)の2校時には、地震、津波を想定した全校避難訓練を行いました。28日(火)には、交通安全教室を実施し、道路の安全な歩き方や自転車の安全な乗り方を確認しました。

面瀬小学校は、ESD(Education for Sustainable Development:持続可能な開発のための教育)スタート校として、様々な教科・領域を通して、地球規模の課題を「自分事として捉え」、問題の解決につながるものの考え方や持続可能な社会を築く行動力を育む教育を実践しています。

地震という地球の営みを正しく理解し、地球に生きるものとして、自他の「いのち」を守るためにどのように考え、判断し、行動するか。

また、交通事故に遭わないようにどのようなことに気をつけたらよいのか。自分事として捉え、子供たちの「安全のたね」が力強く根を張り、育つよう、面瀬のみなさんと一緒に見守り、応援していきたいと思います。



明日から連休です。安全に、そして有意義にお過ごしください。

